

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 玉尾 ひとみ

日時	2023年9月28日(木) 10時00分～15時30分	天候	曇 のち晴	コース名： 第41回よりみちクラブ
案内団体 又は催事 名	くろんど園地自然観察会			人数 大人：14名

集 合：京阪私市駅前 10時00分

ガイド：交野自然の杜クラブ 4名(内サブ1名)

行 程：私市駅→くろんど園地入口→すいれん池(昼食)そよかぜの路・展望台→第一キャンプ場

→すいれん池→私市駅(解散)

3班に分かれて出発。往路、第一キャンプ場管理道まで植物観察、帰路スイレン池から駅まで直行。

出席者…久賀田、上森、堀内(け)、木邨、田中和… A班

玉尾洋、奥山、武田、澤井 … B班

中谷、玉尾ひ、森、嶋村、山田勝… C班 計14名

費用：ガイド料 一人 300円を徴収(当日) 300円 × 14人 = 4200円

(見学のポイント)

交野自然の杜クラブが提供してくれた資料、本日観察の植物一覧とポイントが記されたレジュメを
みながらガイドの説明を聴いた。

- 駅からスイレン池まで2時間あまり、道中の植物約60種を観察。
アメリカノウゼンカズラとノウゼンカズラの違い、ヌルデの花、ツクシハギ・ヤマハギ・マルバハギの見分け方、ヒメジソとイヌコウジュの見分け方、トキリマメ、カラスノゴマ、ガングビソウ等の花と果実・主に草本だが、ミヤマガマズミ、カマツカ、ナナミノキ、ウラジロノキもあった。
- スイレン池からそよかぜの路展望台までは、約20種を観察。
ヨシノアザミ、アキノウナギツカミ、シラヤマギク、ミヤマウズラ(シュンランの仲間)の花、
シャシャンボ、コツクバネウツギ、ザイフリボク、等。
- 展望台から…遠く奈良の山と街が見えた。昔、旅人はこの山を越えて奈良に向かったという。
- 展望台からキャンプ場管理道、約20種
イソノキ、ネズミサシ、クロバイ、サルトリイバラの実(まだ青い)、ゴンズイの赤い実、その他
カワラケツメイの焦茶色の果実(大阪府準絶滅危惧)、タヌキマメの果実(大阪府絶滅危惧Ⅱ類)…
交野の杜クラブ手製の柵で囲まれ保護されていた)

くろんど池 230927 本日観察した植物

【所感・反省点、申し送り事項など】

平坦なコースを！と交野自然の杜クラブに丸投げしたのがよくなかった。

参加者はくろんど園地が山歩きとは知らず、登り道の急坂に不平が集まった。

2名は昼食後のそよかぜの路展望台をパスして、スイレン池の休憩所で待つことになった。

展望台への上り坂は8つの階段があり、かなり息があがる。

しかし、同クラブとしては毎月例会で調査しているフィールドであり、駅から園地入口までの路や

キャンプ場からの管理道は平坦なので、このコースを選んでくれたようだ。

同年代なのに健脚揃いの同クラブメンバーには感心する。C班のガイドさんは、通常の下見とは別に、前日も一人で下見に来たと言うからすごい！

植物の知識はかなりのレベルで、筆者は観察会に時々参加しているが、最も充実した案内だったと思う。想定以上に多くの秋の花や果実を観察でき、貴重な知識を得ることができた。

反省点として

余裕がなくても下見は必須。主催者は体感した情報を正しく伝えなければならないと痛感した。

今回はご案内の“平坦なコース”というフレーズと、園地という楽しそうな名称につられて参加した人が多かったようだ。

以上

